

駆け足で京都を歩く（続）

下鴨神社を出てバス停に行くと、ちょうど四条の方に向かうバスが来たので飛び乗った。四条河原町は人通りもやたら多く、ゆっくり歩けないほどだった。

四条交差点からすこし入ると京の台所「錦市場」があり、左右の店を眺めながら狭い商店街を歩いた。130 余店もの店先にはかご盛りの京野菜や漬物などが所狭しと並び、観光客も多かった。昼にはまだ早かったが、市場の店で売っている京料理 12 品がコンパクトに入った「弁当」を美味しく食べた。



最近では観光まちづくりに関心があり、社会調査実習でもテーマにしているが、「錦市場」を歩いていて地域の食文化と観光の関係を考えさせられた。東京でも築地市場や「アメ横」などを歩いていると楽しいが、市場と観光、食からの観光まちづくりについても検討していきたい。

腹ごしらえをして祇園の方に向かった。西村幸夫編著『路地からのまちづくり』にも祇園南が紹介されており、ゆっくりと歩いてみたかった。町家が軒を並べ、落ち着いた雰囲気であり、伝統と格式が感じられ、なかなか風情があった。祇園のような華やかな

路地と横丁、
路地からの
まちづくり
も興味深い
テーマだ。



祇園から八坂神社を経て、会議のある百万遍にバスで向かった。

（2008年6月9日 記）